BCP（事業継続計画）に基づく 災害対応の机上訓練

（看護）小規模多機能型居宅介護 編

令和7年度 日向市介護サービス事業者集団指導

日向市 健康長寿部 高齢者あんしん課 介護認定係

1. 机上訓練の概要

目的	● 地震発生時における（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の初動対応 ● 事業継続体制の確認 ● 利用者の安全確保 ● 地域連携の強化
想定災害	大規模地震発生（震度6強） 施設・利用者宅の被害、交通障害、通信障害が発生。
発生時間	午後2時
机上訓練時間	1時間程度
職員の状況想定	● 地震発生時、事務所にいる職員と利用者宅を訪問中の職員がいる状態。 ● 事務所内の職員は施設の安全確認と安否確認を開始。 ● 訪問中の職員は安全確保を優先しつつ、可能な範囲で利用者の安否確認を実施。 ● 事務所と訪問中の職員間で連絡手段が限られる中、情報共有と役割分担が重要となる。

I. 机上訓練の概要

時間	状況変化	事業所内対応・検討事項	利用者対応・地域連携
0分 (14:00)	大規模地震発生（震度6強）	職員は安全確保。 施設内の被害状況確認開始。	通所利用者は施設内にいる状態。 訪問中の職員は利用者宅で安全確保。
10分	通信・交通障害発生	緊急連絡網の活用・検討 職員の安否確認開始。	訪問中職員の所在確認。 利用者の安否情報収集開始。
20分	施設内被害の把握	被害状況に応じた避難・安全対策検討。	利用者の安全確認と必要な支援の優先順位付け。
30分	地域の防災情報入手	行政や関係機関との連絡体制確認。	地域包括支援センター等との連携確認。
40分	事業継続計画（BCP）発動	優先業務の抽出と代替手段の検討。	緊急訪問計画の調整。 地域連携による支援体制構築。
50分	訪問中職員の帰所判断	職員の帰所・交代体制検討。	利用者の避難状況把握と支援継続計画。
60分	課題抽出・改善策検討	訓練参加者で課題共有と改善策検討。	今後の防災体制見直しの方向性確認。

2. ワークシートの使用場面について

ワークシートは、机上訓練の進行に合わせて参加者が考え、記入しながら議論を深めるためのツールです。具体的には以下の場面で使用します。

	使用するワークシート	目的
1. 訓練開始直後～初動対応の検討時	● 初動対応と安全確保	● 地震発生直後に職員が自らの安全確保や施設内の被害状況を把握し、初動対応の課題や対応方法を整理する。
2. 利用者の安否確認と支援優先順位を検討する場面	● 利用者安否確認と支援優先順位	● 訪問利用者の安否確認方法や支援の優先順位を検討し、緊急訪問計画や支援体制の具体化を行う。
3. 情報収集と地域連携の検討時	● 情報収集と地域連携	● 地域の防災情報の収集方法や行政・医療機関、地域包括支援センター等との連携体制について話し合い、情報共有の課題を明確化する。
4. 事業継続計画（BCP）に基づく対応策検討時	● BCPの実践	● 優先業務の抽出、代替手段の検討、職員の交代や帰宅判断基準の設定など、事業継続に必要な具体策を検討する。
5. 訓練終了前の課題抽出・振り返りの場面		● ワークシートに記入した内容を基に、グループまたは全体で共有・討議し、改善策をまとめる。

3. ワークシート(1) 初動対応と安全確保

項目	記入欄
地震発生時の職員の状況	例：施設内6名、訪問中2名
施設内の被害状況	例：家具の転倒、ガラスの破損
職員の安全確保方法	例：安全な場所への避難、応急処置

3. ワークシート(2) 利用者の安否確認と支援計画

項目	記入欄
通所利用者の安否確認方法	例：施設内直接確認、体調確認
訪問利用者の状況把握方法	例：電話連絡、訪問確認
支援優先度の高い利用者	例：医療依存度高い方、独居高齢者
緊急訪問計画の検討	例：訪問職員の割り当て、移動手段

3. ワークシート(3) 情報収集と地域連携

項目	記入欄
地域の防災情報入手方法	例：自治体HP、ラジオ、地域包括支援センター
行政・医療機関との連絡体制	例：連絡先一覧、連絡ルール
地域連携先との支援協力体制	例：訪問介護事業所、消防署

3. ワークシート(4) BCPの実践

項目	記入欄
優先業務の抽出	例：利用者安否確認、緊急訪問、連絡体制維持
代替手段・リソース	例：他事業所協力、物資備蓄
職員の交代・帰所判断基準	例：疲労度、交通状況
今後の課題と改善策	例：通信手段の多様化、訓練頻度の増加

4. チェックリスト（机上訓練終了後の振り返り）

項目	記入欄
職員体制・安全確認	☐ 職員の安否確認が迅速にできたか ☐ 出勤可能な職員の判断基準が明確か ☐ 緊急連絡網は最新かつ機能しているか
利用者安否確認・支援	☐ 利用者の優先順位付けが適切にできたか ☐ 安否確認方法は多様で機能的か ☐ 支援が必要な利用者への対応策が具体的か
情報収集・共有	☐ 代替の通信手段が確保されているか ☐ 地域の防災情報を入手できる体制があるか ☐ 行政や医療機関との連絡体制は機能したか ☐ 情報共有のルールが周知されているか
BCPの実践	☐ 優先業務の明確化ができていないか ☐ 代替手段や連携先が確保されているか ☐ 訓練を通じて課題と改善点が洗い出せたか ☐ 改善策の具体的な計画が策定されたか